

第5回八戸市中心市街地活性化協議会 議 事 録

1. 開催年月日 平成20年10月27日(月) 14:30~16:00

2. 開催場所 八戸商工会館4階大会議室

3. 出席者数 (1)委 員 30名
(2)オブザーバー 3名
(3)事務局 6名
(4)八 戸 市 6名

4. 議事の概要

事務局から開会を宣し、会長 橋本昭一の挨拶の後、事務局から規約第14条により委員37名の内、30名が出席したことから定足数を満たし、協議会として成立する旨及び会長が議長となる旨を説明後、委員の変更者を紹介した。

続いて、事務局よりタウンマネージャーとして小林隆一氏を選任した旨を報告し、小林タウンマネージャーの挨拶後、会長が議長となり議事に入った。

第1号議案 八戸市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

八戸市中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業に各事業主体より事業の進捗状況の報告後、議場に意見を求めたところ、下記のとおり意見が出された。

- ・ 立体駐車場の整備事業はどうなっているのか
→まちづくり会社での立体駐車場整備事業については、中心街での開発事業と連携し整備したいと考えておりますので、今後開発案件が浮上した際に内容等について検討することとなる。
- ・ 自転車に対応したまちづくりを提案する方法はどうすればよいか
→中心街活性化に資する事業として必要であれば、基本計画へ新たに掲載するため、協議を進めていくことが必要。また、自転車での来街者増加を誘発する方策についても今後協議していくことが必要。
- ・ まごころ宅配事業におけるバス車内広告掲載について市営バス以外も検討すべき
→予算の関係もあるが今後検討したい。
- ・ ブルーシートが掛けられた状態の八日町における空きビルの開発が動き出すよう働きかけるべき
→部会等のレベルで今後検討する
- ・ 県道妙売市線の歩道整備に際した電線地中化事業について、行政と商店会において考え方に相違がある。
→歩道整備の内容については県が現在検討している状況である。
協議会とすれば市に県と商店会との間に入って頂き調整するなどの方策を検討して欲

しい。

- ・ バスロケーションシステムの端末を六日町へ設置してほしい
→六日町の歩道幅が狭いため民地での設置を検討してきたが、現状では難しい。今後進められる歩道整備と併せた設置を検討したい。
- ・ スケートボード広場の整備事業の実施時期を確認したい。また具体的な管理方法についてはもう少し検討すべき。
→計画上は21年度の整備であったが、今年度実験的に実施する予定。また管理方法については検討したい。
- ・ 利用を促進するため、八戸駅と中心街の区間における回数券についても割引率を高くしたらどうか。
→回数券はバス会社3社で共通で利用でき、区間回数券ではないため割引率を高くすることは難しい。

その他意見が出ないことから、議長が議決を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り可決された。

議案終了後、八戸商工会議所の専務理事 小嶋誠一氏及び商業振興委員長の類家徳昌氏より、新聞報道がなされた田向地区の開発案件に対する商工会議所としての考え方等について説明が行われた。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、16時00分に閉会した。